

実施日：7月7日（2校時）	
領 域：特別の教科 道徳	
取組名：生命の伝達とその尊さに気づく（資料「まりちゃんとあさがお」（小学生の道徳1））	
対 象：1年生	実施場所：教室
ア ねらい <ul style="list-style-type: none"> <li>あさがおのように、生き物は生命が受け継がれていることについて知り、生命の尊さに気づき、自他を大切にすることを育む。</li> </ul>	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <p>第1次 生活科での「あさがおの発育」を想起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちが育てている「あさがお」が花を咲かせている。その花が枯れるとどうなるのだろうかと疑問を投げかけ、観察する意欲を高めさせる。</li> <li>観察を終えた児童の中には、枯れて花弁がしおれ、やがて落ちた後、丸いつぼみのようなもの（種子）ができていることに気づく。それぞれが意識して、花の枯れた後を観察し、花が枯れた後にも生命が受け継がれていることに関心を持たせる。</li> </ul> <p>第2次 「まりちゃんのあさがお」の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あさがおを育てる主人公のまりちゃんの行動と自分自身の生活科の経験を重ね合わせ、朝顔を育ててきたそれぞれの経験を思い出させる。</li> <li>あさがおの花が咲いた時の気持ちと枯れていく気持ちを比較しながら、それぞれの気持ちを発表し合うことで、うれしさと寂しさの感情を共感させる。</li> <li>種の芽生えに気づいた主人公の心情に寄り添うとともに、自分の育てたあさがおも同じく種を作ることへのわくわくする気持ちを発表させる。</li> <li>あさがおの生命が受け継がれていくことを知り、自分たちもまた生命を受け継ぐ一人であることを思い、自他を大切にすることを育む。</li> </ul>	
ウ 連携先：他学級、他学年、家庭	
エ 連携にむけての取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>学年、学級だよりで、学習内容や児童の様子、授業後の行動の変化などについて知らせ、家庭においても児童の自尊感情伸長に意識を向け、共有する。</li> </ul>	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> <li>他者に対して先入観や偏見で見ることの愚かさ気付くように、各担任などの取り組み（特に気になる児童の様子や関わり方の留意点など）を学校全体で共有できるよう、月に一度全体会を開き、確認する。</li> <li>気になる児童の多くが衝動的に自他を傷つける。その行動に対して個人的な指導と全体への働きかけを並行して行う。全体へは、個の尊厳と集団としての包容力を培う。</li> <li>校内の「人権の木」を活用し、クラスの友達のやさしさを見つけ、「人権の実」に記入し貼り付け、他学年に広げる。</li> </ul>	
カ 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート、感想 ・生活科「観察カード」</li> </ul>	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>毎朝「あさがお」の水やりをし、観察した様子を互いに伝え合い、成長を喜び合った。</li> <li>暴力や暴言に気付けば、「みんな大切な命だ」と伝え、反省を促し、許し合う姿が見られた。</li> </ul>	
ク 課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>自己中心的な発想や言動で仲間と協働できない児童へのより良い関わり方を模索する。</li> <li>個々の自尊感情の伸長と集団力の向上を図る取り組みを推進していく。</li> <li>校内の情報共有の在り方を検討する。</li> </ul>	